

別海町農業・農村振興計画推進状況及び評価について  
(計画年度：平成 28 年度～令和 7 年度)

【推進状況】

区分	指 標	単位	R 7 (目標)	R 2 (実績)	R 7 (実績)
環境	地域バイオマス利活用施設整備 (肥培かんがい施設等)	施設	100	58	84
	草地更新率	%/年	10	4	4
個性	新規就農者数	戸	30	17	35
信頼	高付加価値のべっかいブランド 開発商品数	個	15	14	20

【評 価】

区分	指 標	評 価
環境	地域バイオマス利活用施設整備 (肥培かんがい施設等)	国の予算が限られる中、物価高騰に伴う建築資材の高騰等により、年間に整備可能な施設数が減少傾向にあることから目標数に到達していない状況です。今後も家畜排せつ物の有効利用と環境負荷物質の低減のため、国営事業の推進等により施設の整備を進めます。
	草地更新率	各種事業の活用により草地更新等を推進してきましたが、10年間の更新率は4%程度で推移しています。1戸当たりの経営面積等を勘案すると、目標値が過大であったと考えます。 購入飼料費が高止まりしている情勢下においては、良質で低コストな自給飼料の生産が重要となることから、引き続き、草地更新率の向上を目指し各種事業を推進します。
個性	新規就農者数	就農フェアへの出展や酪農研修牧場での研修体制の確保等、関係機関と一体となって取り組んだ新規就農者の確保対策の成果として、目標数を達成しました。一方で、全体の飼養戸数は減少傾向で推移しており、本町の酪農生産基盤の維持のため、引き続き、新規就農者の確保に努めます。
信頼	高付加価値のべっかいブランド開発商品数	「べっかい」ブランド力の向上のため、定期的に新たな製品を開発しています。特にふるさと納税の返礼品の開発が進んだことから目標数を達成しました。全国各地でイベントでのPRや販売を積極的に行っており、「べっかい」ブランドの普及や本町の牛乳・乳製品の価値向上が着実に図られているものと考えています。